

「会報」送付の皆様方へ

「会報第二号」の送付

平成 15 年 3 月吉日
今井研卒研究生の会
「会報」編集担当
坪井 孝光

「通研・今井研卒研究生の会」の「会報第二号」は真空管陰極管係をシリーズ化し、その第一回目として倉本敏雄氏からの原稿をいただきました。また、多村卓氏の「ドミニカ便り」と、鈴木威一氏からの「卒業論文の思い出」の寄稿文を掲載いたしました。更に「会報第一号を読んで」の感想文と、今井先生紹介による「特報・塚本一義さんの快拳」を掲載いたしました。

次回の「会報」第三号はこの9月に発行の予定です。皆様方からの積極的な投稿を期待しております。

〔 「この会」の会員の方々は、それぞれに懸命に自分の道を歩んでこられた。我々の仲間には「成功者」も「非成功者」も無い。あるのはただ、「同じ釜の飯を食った仲間」という共通の意識である。

多村卓さんの言葉を借りれば「既に人生の峠を越された多くの会員の皆様方の気楽な、そして思わず賛同できるそんな記事投稿」の場として、本会報が役立っていければと思う。

“ この「会報」に「自分史」を少しずつ書き綴っていきたい ” という坪井孝光編集幹事の思いと、それを実現するための献身的なご努力もこうした共通の意識に根ざしているのではなからうか。寄稿された方々のお陰で、「第一号」に勝る充実した、そして多彩で楽しい内容の「第二号」を皆様にお送りできることを嬉しく思う。

丁度一年前の今頃（2002.2～2002.3）は「名簿作成」のため、倉本敏雄さんとの間で計 50 通を超すメール交換を行っていたことを、遠い昔のこのように想い出している。

今井 哲二 〕